

<過去1週間の動き>

(11月28日～12月4日)

USD/TRY: 28.7889～28.9633

TRY/JPY: 5.05～5.14 (参照値)

過去1週間のトルコリラは対ドルで横ばいの推移。11月30日公表の2023年7～9月期実質GDP公表後や、12月4日公表の11月CPI公表後にはややリラ高となる場面も見られた。この2つの統計は、トルコ中央銀行(TCMB)による今年6月以降の累計31.50%ポイントもの大幅利上げが实体经济に浸透しつつあることを示す内容であり、リラにとってはポジティブな内容である。

2023年7～9月期実質GDP成長率は前年同期比+5.9%と4～6月期の同+3.9% (改定値) 及び市場予想の同+5.3%を上回った。ヘッドラインの数値だけを見れば非常に堅調な結果だが、内訳を見ると、輸入の大幅な減速に伴う純輸出のマイナス幅の縮小が全体のGDPを押し上げた格好となっている。実際に輸入の伸びは4～6月期の前年同期比+19.8%から、7～9月期には同+14.5%に縮小している。一方、トルコ経済の7割強を占める家計消費は4～6月期の前年同期比+15.4%から7～9月期には同+11.2%に、政府支出は4～6月期の前年同期比+6.1%から7～9月期には同+5.3%に減速した。総固定資本形成は4～6月期の前年同期比+5.6%から7～9月期には同+14.7%に加速し、純輸出のマイナス幅の縮小に次いでGDPへの押し上げ寄与度が大きくなった。

11月CPIは前年同月比+61.98%と10月分の同+61.36%から加速した一方、市場予想の同+62.60%は下回った。今年に入りCPIの伸びは最速を記録した形だが、最大の要因は賃金の上昇を反映しやすい、「ホテル・カフェ・レストラン」(前年同月比+92.86%)、「医療」(同+82.13%)、「教育」(同+81.49%)の上昇である。一方、これらのサービス品の項目の前月比で見た上昇は0～1%程度に減速しており、物価上昇の勢いは和らぎつつある。

GDPやCPIの結果から浮かび上がってくるのは、トルコ経済が利上げによって急ブレーキがかかることなしに徐々に内需及びインフレ圧力が冷却化に向かっていく絵柄である。若干、「出来すぎ」の感はあるかもしれないが、これまでのところ、5月の総選挙以降の金融・財政政策の転換はうまくいっていると見て良いだろう。

<過去1週間に発表された主要経済指標等>

月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
11/29	07:00	貿易収支(10億ドル)	10月	-6.70b	-6.52b	-5.04b
11/30	07:00	GDP(前年比)	Q3	5.3%	5.9%	3.9%
12/4	07:00	CPI(前年比)	11月	62.6%	61.98%	61.36%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

<向こう1週間の見通し>

(12月5日～12月11日)

USD/TRY: 27.00～29.50

TRY/JPY: 4.80～5.50

上述の通り先週発表された経済指標がリラにとってポジティブなものだったこともあり、リラが安定化に向かう兆しがやや見えつつある。トルコの政策金利は40%に引き上げられた一方、FRBやECBの利上げは打ち止めになった公算が強まっており、リラと主要通貨との間の金利差は一段と拡大していることも追い風であろう。リラは6月の利上げ開始から31.50%もの大幅利上げにも関わらず下落が続いている状況だが、下落ペースは緩やかとなっており、リラの下落を金利収益でカバーすることが期待しやすい環境になりつつある。こうしたキャリトレードの動きは、米金利を始めとする外部環境に左右される面が大きいほか、トルコ国内でも来年3月に控える地方選挙をはじめ、政治情勢・経済政策には依然として不透明感が残る状況だが、マーケットのトルコ金融市場に対するスタンスの変化が見られる可能性を意識する必要があるだろう。

<向こう1週間に発表予定の主要経済指標等>

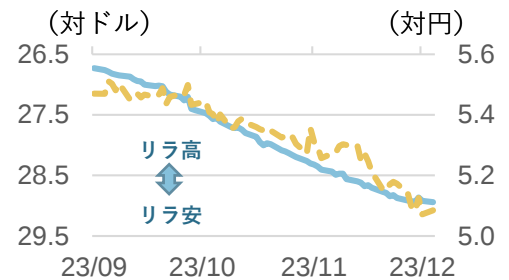
月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
12/11	07:00	経常収支(10億ドル)	10月			1.88b
	07:00	鉱工業生産(前年比)	10月			4%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

トルコ・リラの推移

実線: 対ドルレート(左軸、逆目盛)

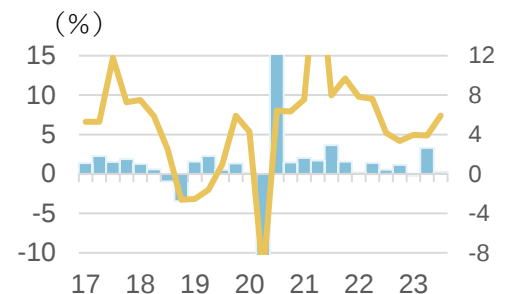
点線: 対円レート(右軸)



トルコ 実質GDP成長率

棒グラフ: 前期比(左軸)

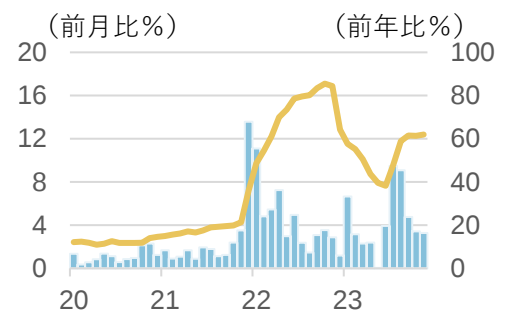
折れ線: 前年同期比(右軸)



トルコ 消費者物価指数(CPI)

棒グラフ: 前月比(左軸)

折れ線: 前年同月比(右軸)



(資料: トルコ統計局、トルコ中央銀行、ブルームバーグ)

<文責>

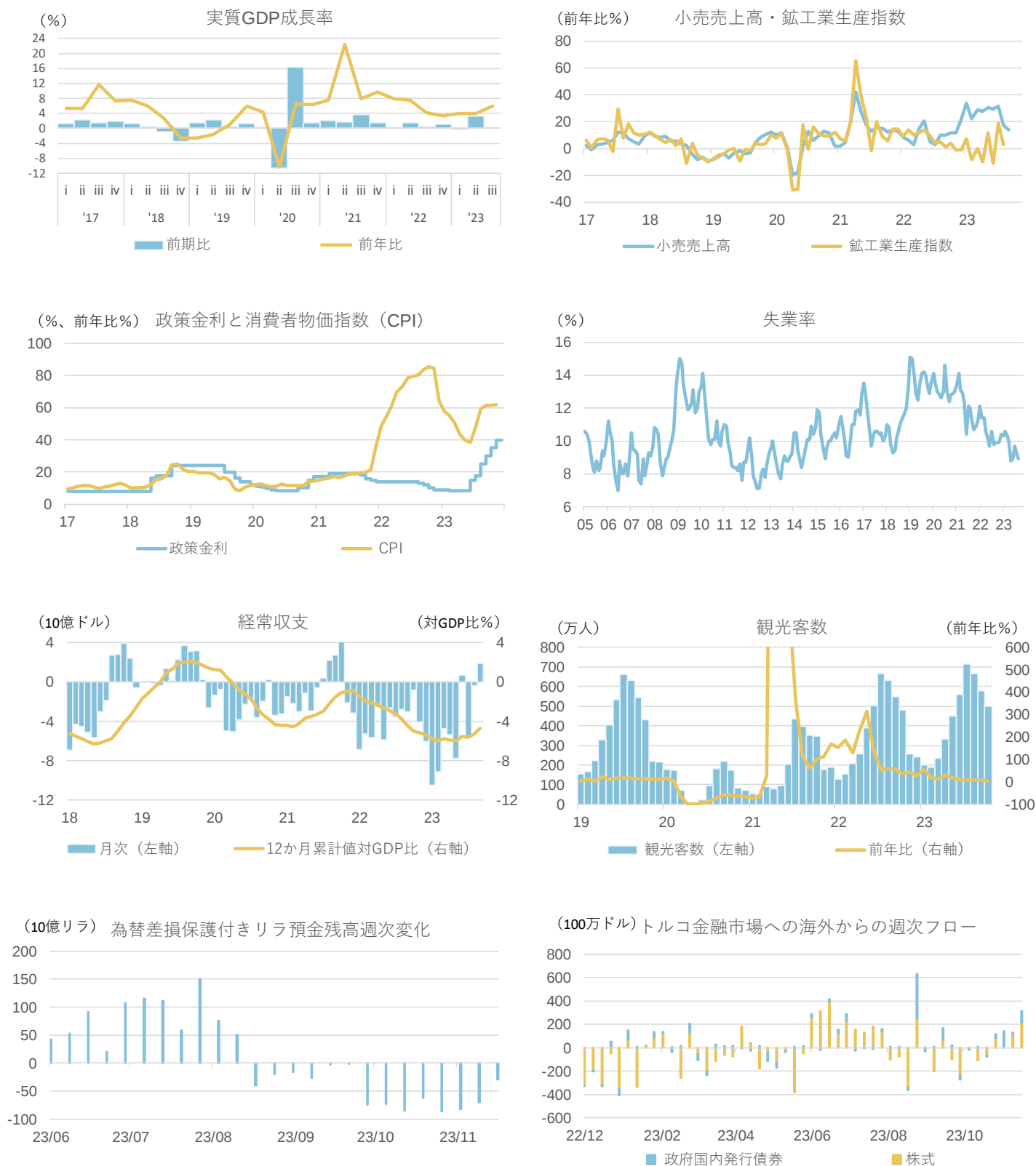
欧州資金部

シニア為替ストラテジスト

中島 将行

masayuki.nakajima@mhcb.co.uk

<主要経済指標の推移>



(資料：トルコ中央銀行/トルコ統計局/ブルームバーグ/みずほ銀行)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。